

2024年1月27日

神奈川大学
社会連携部 本の架け橋プロジェクト 様

ピラポ日本人会立日本語学校附属幼稚園
責任者 所谷 一美

拝啓 厳寒の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は、2023年度「世界の笑顔のために」プログラムにて、当園へ絵本と紙芝居のご寄贈を賜り、誠にありがとうございました。

昨年10月半ば頃に当園にご寄贈いただきました物品が届きました。このような綺麗な状態の絵本や紙芝居が当園にて使用できることを職員、園児一同大変喜んでおります。大切に使用させていただきます。

これを機に、さらにより幼稚園になるよう、職員一同一層努力して参りたいと存じますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

貴学のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、書中にて甚だ恐縮ではございますが、お礼のご挨拶といたします。この度は誠にありがとうございました。

敬具

神奈川大学

社会連携部 本の架け橋プロジェクト 様

お礼状

この度は、「世界の笑顔のために」プログラムにおいて、絵本と紙芝居をご提供いただき、誠にありがとうございました。

私は現在、日本のほぼ反対側にある、南米パラグアイのピラポ市で活動を行っています。ピラポは日系移住地であり、今年で入植64年目を迎えます。今では日系1世～4世と、幅広い世代が暮らしています。ピラポでは日本語教育に力を入れており、日本語、日本文化、日本の規律や礼儀などを日本語学校と附属幼稚園で教育されています。私はJICA日系社会青年海外協力隊としてピラポ日本人会に所属し、主にピラポ日本語学校と附属幼稚園で活動をしています。

幼稚園では子供たちにより多く日本語に触れてもらうために、授業中に紙芝居の読み聞かせや、自由時間に絵本を読める環境を作っています。しかし、現在幼稚園にある紙芝居や絵本はどれも昔からあるもので劣化したものが多いです。また、ずっとある絵本のため、自由時間に本を読む園児は少ない状況でした。園児たちに少しでも多く本に触れてほしいと思い、「世界の笑顔のために」プログラムで紙芝居と絵本を募集させていただきました。

今回、神奈川大学 社会連携部 本の架け橋プロジェクト様より多くの紙芝居や絵本をご提供いただき、先生一同とても喜んでおります。子供たちも新しく見る絵本などに興味津々で読み入っております。

改めて、「世界の笑顔のために」プログラムに参画していただき、紙芝居と絵本をご提供いただいたことに心より感謝いたします。ありがとうございました。

2024年1月28日

JICA 日系社会青年海外協力隊 2022-4次隊

(配属先：ピラポ日本語学校・附属幼稚園 職種：青少年活動)

▼神奈川大学 社会連携部 本の架け橋プロジェクト様からご提供いただいた
紙芝居と絵本等と先生の様子



▼いただいた物品一つひとつに『JICA寄贈』と名前を記載しています



▼神奈川大学 社会連携部 本の架け橋プロジェクト様ご寄贈の絵本などを読む
園児たちの様子





